雑木林

10号

小川町里山クラブ You ー You　編集発行

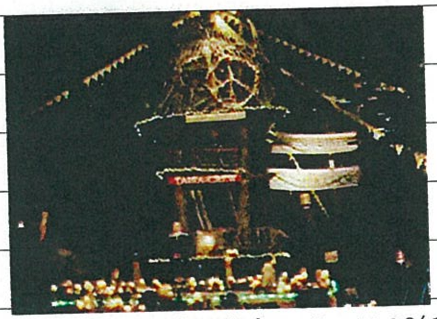
２０１1年4月２９日

■シンボルとして意味を持つツリーハウス

日本のツリーハウスの第一人者、NPO法人ジャパン・ツリーハウス・ネットワーク（日本ツリーハウス代表小林崇）の製作したツリーハウスも今回の被災地となった東北方面にいくつもあり

その他依頼されてつくったツリーハウスが、沖縄から北海道までありますが
その中でも
←2006年北海道の、コーヒーのCMで、ミノムシ形のツリーハウスは皆さんご存知だと思います

2008年京都府京丹後市の久美浜原子力発電所は、原発反対運動の結果原発が白紙撤回となり、代替案としてのシンボルとして→



←2010年新潟県では中越地震後の、復興イベントのシンボルとして

2008年茅ヶ崎市では、100%税金でつくられた日本で初めて公共のツリーハウス（小林崇氏談；やっと日本で市民権が得られた）→

現在は、アジア初となる、小児ホスピスの設立を目指す大磯の「海の見える森」に、ランドマークとなるツリーハウス製作中でそこには、いくつものツリーハウスができ、日本で初めてのバリアフリー型のツリーハウスがこれから作られます。

2012年までに、我らが小川町町有林に、人と里山の交流を目指す「体験の森」づくりの拠点シンボルとして**ツリーハウスが作られます！→**

■まえがき 予測不能な大地震・津波による大惨事、安全神話の崩壊

1000年に一度の未曾有の東北関東大地震による被災者の方々に、この場をお借りして心からお見舞い申し上げます。予測不能な大地震・津波による大惨事、安全神話の崩壊
まさか自分が生きている間に起ころうとは、思いもしませんでした。
リアルタイムにまざまざと見せられる原子力発電所の恐ろしさ、状況把握が出来ないもどかしさ次々と広がる原発関連被害の見えない不安。いつまで続く予期せぬ計画停電による経済の停滞。
震災前の、世の中の閉塞感から、今回の出来事で、ますますこれからどうなって行くのか読めない状況となってきました。
以前から原発の安全に疑問を持っていた。会員のSさんは、福島第一原発内部を見学する機会があり、関係者にそれまでの疑問をぶつけたそうですが、予測可能な限り完璧な安全対策をしていますとの説明だったが、今回の予測を超えた自然災害による取り返し様のない事態。負の遺産となってしまう、先行きのない原子力エネルギーから、リスク分散型の再生可能エネルギーへの転換や、省エネなどの生活スタイルの切換えを、真剣に考える時がきたのではないでしょうか。（すでに平成23年4月分の電気料金から太陽光発電促進付加金の負担が始まるそうですが、国では太陽光発電の余剰電力に限定している買取制度を、風力・水力・地熱・バイオマスなどの他の再生可能エネルギーにも拡げる「再生可能エネルギーの全量買取制度」について検討中との事で、やっと国を挙げて舵がきられる時代がきたのでしょうか）

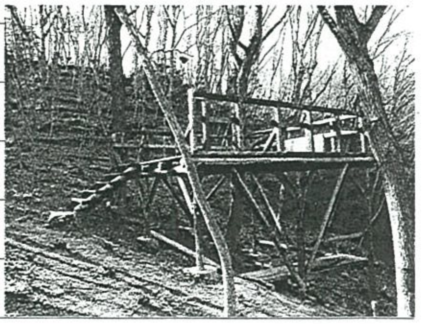
ツリーハウスで何が出来るのか？

そんな中で、小川町は、里山に囲まれた有機の里、自然エネルギーの里で知られていますが小川町の暮らしの中に、私たちが少しでも出来る事。里山の間伐材等の自然エネルギーの利用や、里山の自然に親しめ学べる場所。鳥の眼や虫の眼になり非日常体験をしながら、これから私たちに出来る事や、すべき事を模索体験出来るであろう場所の一つとして、1昨年から里山クラブで手がけている人と里山の交流拠点ツリーハウスづくりは、意義のあるものではないでしょうか。しかしながら、ツリーハウスの第一展望台を昨年完成したものの、次のステップ第二展望台が未完成で、又つくった後に一般公開するには、躊躇している状況です。
どうしても、非日常空間だけにつくる立場からは、利用するには自己責任に負うべき問題があるからです。又つくった後のメンテナンスもあります。これらの事も皆さんと共に考えながら非日常作業の危険性を知り、自己責任を学びながら、安全かつしっかりしたツリーハウスづくりを、じっくり時間をかけて皆さんと共に完成を目指しましょう。

■ツリーハウスの検討点

少しずつ普及認知されつつあるツリーハウスですが、日本では特に不特定多数が利用する場合、ツリーハウスをつくる法律が整備されておらず、現行の建築基準法の中ではあいまいな状況の為、行政によって解釈の違いがあり。行政としては積極的に関与しにくい状況です。
里山クラブでつくるツリーハウスの地は、ご存知の通り、角山滝ノ沢の小川町町有林(7.2ha)ですが、ホンダ関連工場の進出誘致の為、県や町を挙げ町有林の都市計画線引きを見直し、用途地域を工場地域にした上で関連工場の誘致活動をしていましたが、リーマンショックをきっかけに現在は立消え状態になっている場所です。
3月11日の、大地震により第一展望台に大きな破損はありませんでしたが、ホストツリーの幹と床材の隙間がなくなっているので、床面が全体的に数センチ尾根側へ移動している模様です
又手摺が一部欠損していましたので、修復する必要があります。
この様に、地震や台風の自然災害時や、定期的なボルトの緩み点検や、特に床材の柿渋(防腐材)塗りも例会行事に組み込んで、メンテナンスをして行く必要があります。

■ツリーハウスプロジェクトのこれまでの経過

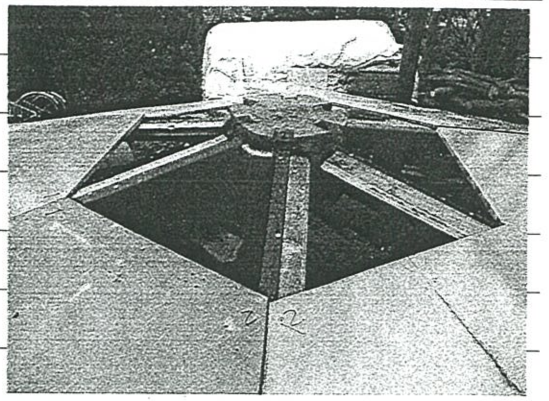


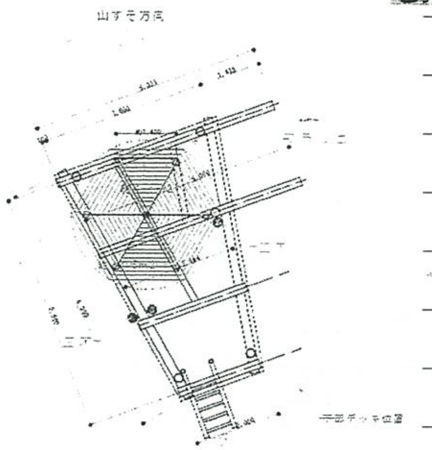
2009年4月 「体験の森」にツリーハウスをつくる事を決定
2009年4～5月 尾根への搬入のための山道整備
2009年5～6月 設置場所の選定と具体イメージの共有
2009年5～7月 里山から間伐材の運び出し・皮剥き・乾燥
2009年7月 助成申請用図面作成
2009年8月 (財)サイサン環境保全基金への助成申請提出
2009年9月 同上審査結果決定(助成金額20万円)
2009年9月 丸太(柱・梁材)柿渋塗り・乾燥
2009年10～2010年2月 丸太(柱・梁材)の加工・柿渋塗り
2009年12月 基礎掘削
2010年2月 尾根へ基礎材料運搬及び基礎づくり
2010年1～2月 丸太(柱・梁材)の加工・柿渋塗り
2009年2月 柱・梁材を尾根へ運搬
2010年3月 柱梁地組み・棟上げ・床張り・手摺り
2010年3月30日 第一展望台完成

■ツリーハウスのこれから

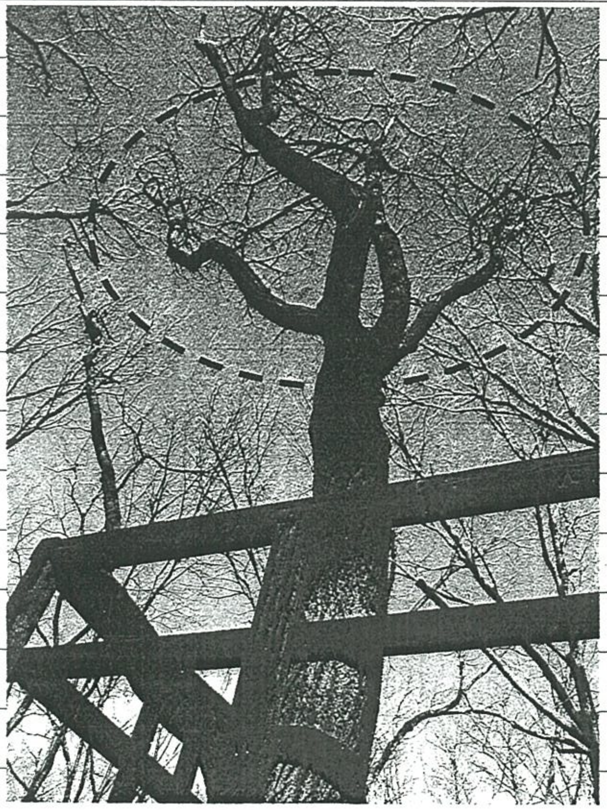
次のステップ第二展望台ですが、第一展望台の床から約3m位の高さのホストツリーの木の又に大引きを預け、他を第一展望台の梁上から束柱で受ける形を提案しますが、決定ではありません。
皆さんからのイメージを募集しますので奮って御応募下さい。

毛利公昭





上部展望デッキフレーム案



埼玉新聞　2010年（平成22年）9月2日（木曜日）

リレーエッセー ㉛

比企・里山探訪

住民の力で町有林再生

佐藤　章

2003（平成15）年、小川町の環境基本計画に基づき、町有林（同町角山滝ノ沢7・2ha）の里山づくりを委託された「小川町里山クラブYouYou」の活動は、自然との共生を理念として始まった。

毎年200人以上の町民が里山の整備に汗を流して、はや7年。40年以上も放置され荒廃した町有林。かつてはヒサカキやアラガシがうっそうと茂り、踏み込むこともためらう山であった。

整備活動は不法投棄のごみの片付けから始まり、散策路の整備、松枯れの処分、雑木林の下刈りを実施した。町有林の歴史や地質、植生の調査も3年かけた。

雑木林の四季折々の風景に心躍らせ豊かな植生の再生を目指した活動は、光を好むツツジの開花、銀ランや金ラン、イチヤクソウなどの再生で緩やかな効果を生みつつある。また、個人、夫婦や家族、都市部の人たちの参加もあり、楽しい交流となっている。

■さまざまな生き物が共生する森に

町有林を「憩いの森」「循環の森」「体験の森」と区分した里山整備計画を05（平成17）年に策定し行政との連携も図った。

「憩いの森」では四季折々の美を生む雑木林の効果を楽しみ、ベンチや木琴テーブルなどを作った。

「循環の森」ではシイタケ、ナメコ、ヒラタケなどの榾（ほだ）木作り、炭焼きで炭のパワーを実感して資源を循環させる妙味を体験。

「体験の森」では昆虫の床作り、山鳥との霊的出会いと別れ、傷ついたウサギの赤ちゃんの生と死に輪廻転生の世界を見た。自然を構成している生態系の素晴らしさと響きあう命の谺（こだま）を実感。

また、町有林に隣接する谷津田を再生させた田んぼ作りでは、トウキョウサンショウウオやカワニナ、ホタルなどから、田んぼは命のゆりかごであると実証された。

■第一展望台の完成

会員の総力を集結して完成させた第一展望台は、現在建設中のツリーハウス造りのワンステップであったが、厳しい力仕事だった。

5㍍の丸太搬入のための山道整備から、間伐材の運び出し、丸太の加工や柿渋塗り、棟上げ、床張りまで会員の作業によるものだ。完成した時の堂々とした建造物に感動した。完成を祝って舞ってくれた獅子舞も素晴らしかった。

虫の眼（め）や鳥の眼、人の眼や神の眼で森を見ると、雑木林は神秘に満ち人の心を癒し生命エネルギーの源がここにあると感じる。雑木林の尾根にそびえる第一展望台は、里山と人の交流拠点として多くの町民が訪れ愛され始めている。

（隔週掲載）

佐藤　章（さとう・あきら）　1941年小川町生まれ。小川町里山クラブYouYou会長。元高校教諭。バブル全盛期にゴルフ場造成の乱開発に警鐘を鳴らす。ヒマラヤやサハラ砂漠、シルクロード等を歩く。著書に詩と写真集『氷河から砂漠まで』『シルクロード紀行ー砂漠で感じたこと』などがある。詩人、登山家。ヨガとウオーキング三昧の日々。

第一展望台の完成を祝った獅子舞。舞は嵐山町在住の井上奈々星（ななせ）さん

虫の眼から鳥の眼へ

2010年3月吉日　第一展望台完成

新緑に映える第一展望台

虫の眼から鳥の眼へと
「体験の森」に
聳える第一展望台

この森では
昆虫の床づくり
傷ついた野兎の赤ちゃんの
生と死
山鳥との霊的な
出会いと別れ
私たちの展望台は
こうした体験から生まれた

光を好むツツジ
木漏れ日に咲く
銀ラン　金ラン　イチヤク草
森の精霊と踊る
獅子舞い

ひとの心と汗が
森に響き合う第一展望台

森の精霊と踊る
獅子舞い

ひとのわとまか
森に響き合う第一展望台

私たちのめざす 森づくり

森の声が　聞こえる

樹木も花々も鳥たちも、「森からのめぐみ」そのものなのです。
その確かな事実を知り、できるだけ多くの人たちと共有するために、私たちは森に通います。

金ラン

2010.05.15

銀ラン

ひとりひとりの　心が未来の森を育てます

「里山」という言葉の響きに、心の原風景を思い浮かべる方もたくさんいらっしゃることでしょう。

人と自然が共生する　里山

森のめぐみを活かした活動を展望する

～森からのめぐみ～

くりたけ

ヒラタケ(人工しめじ)

里の川の生き物の保全

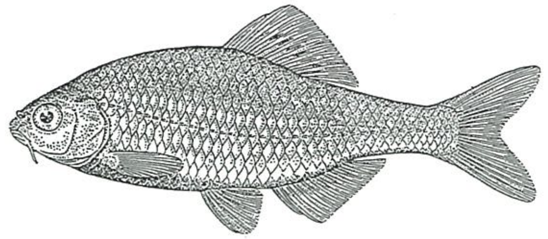
斉藤裕也

2010 年に開催された生物多様性条約国会議(COP10)では『SATOYAMA』という言葉が広く使われました。私たちの身近な「里山」の環境が生物多様性維持のために重要な場所であるとの認識を得たことの証です。多様な生物の生息の場は、なにも世界自然遺産に代表される知床、白神、屋久島などの優れた自然環境の地ばかりでなく、身近な自然の中にもあることを気付かせてくれます。里山は私たちの祖先が自然を利用しながら暮らしてきた知恵と努力があちこちに見えます。ほど良く管理された里山の小道を歩く快さはかけがえのないものだと思っています。

里山など耕作地の背後にある山や山林に対して、耕作地に水を供給する小川や用水路、溜池などの水に係る場所を私は「里の川」もしくは「里の水系」と称しています。今、ここに棲む生き物には大きな危機が迫っています。昔ながらの小川や用水路は維持のために草刈や泥上げの作業が欠かせません。しかし、営農者の高齢化によってこれらの作業の負担を軽くするため、水の供給はパイプラインで行い排水路はコンクリ-トでU字溝とされる事が多くなりました。この場所に生きる生物は営農形態の変化とともに、絶滅の危機が急速に迫っています。タガメ、ゲンゴロウ、コオイムシなど水田の周囲に見られた食物連鎖の上位の種は、県下ではほとんど生息の場がなくなりました。また田の脇の小川にかつては見られたメダカやフナ(キンブナ)も、極めて限られた場所にしか残っていません。

私が今、保全の対象として保全運動を行っているのはヤリタナゴという大きくても 10 ㎝ほどの小魚です。タナゴ類は日本に 15 種ほどが生息しますが、その内の 1 種を除いて全てが環境省のレッドデ-タブック(RDB)に掲載されています。埼玉県にもかつては 5 種のタナゴ類が生息していましたが、すでに 3 種は絶滅し現在野生状態で生き残っているのはヤリタナゴのみとなっています。(ミヤコタナゴは滑川町で飼育環境下でのみ生存しています) ヤリタナゴは加須・中川流域や利根川右岸の妻沼・行田・羽生などの水田地帯に広く存在した生息地が消滅し、現在は都幾川流域の嵐山町から川島町までの範囲に生き残っていますが、埼玉県下で生存しているのは、恐らくこの地域だけでしょう。

タナゴ類はとても不思議な繁殖方法を行います。これとヤリタナゴが消滅したのとは大きく関係しています。タナゴ類は全ての種が二枚貝に卵を産む、変わった繁殖様式を持っており、二枚貝の生息なくして繁殖はできないのです。淡水の二枚貝と言えばどんな貝を思い出すでしょうか。最も身近なのが、かつては用水路や田の脇の小川に居た最大 3 ㎝ほどのマシジミです。また、溜池などにいる大きくて 10 ㎝を越す薄い殻を持ったバカッカイと呼ばれていたドブガ



ヤリタナゴ

マツカサガイ

イなどがいました。他にも流れにいて7㎝ほどになるマツカサガイがいます。ヤリタナゴはこの貝に産卵するのですが、マツカサガイが生息している場所がもうすでにU字溝とされたり直線化されてコンクリ-トで固められて、あまり残されていない状況です。利根川流域のかつての広い生息域は二枚貝の生息地を保全しなかったので消滅してしまったのです。

春～初夏の産卵期になるとヤリタナゴの♂は緑と紅の混じった美しい体色となり、背鰭、尻鰭も朱色になって美しく(観賞魚としての価値があります)、二枚貝の周囲に縄張りを形成して、他の♂を追い払い、成熟した♀を確保しようと争います。♀の体色は変化しないものの、腹部が膨らんで産卵管と呼ばれる2㎝ほどの無色の管が発達してきます。♀は産卵する貝を探して移動し、貝の匂いをかいで確認してから産卵行動が始まります。貝が決まったら♀は産卵管を貝の水管にすばやく差し込み、一瞬にして数個の卵を産み、♂はその直後に水管の目前で放精して、貝の中で受精して卵の発生が始まります。産卵からおよそ一ヶ月後に卵は貝の中で発生して孵化してからも数日を経て、貝の中から稚魚が泳ぎ出してきます。貝の中から出てきた稚魚は5～6㎜で、秋には3㎝、翌春には5㎝に育って、繁殖期を迎える生活史を持っています。

さらに不思議なのは二枚貝(マツカサガイ)の繁殖方法です。タナゴ類は二枚貝に卵を産み付けて産卵母貝として利用してきました。この二枚貝は幼生(グロキディウム幼生)をタナゴ類以外の魚、主に底近くにいるドジョウやハゼの仲間に付着させて繁殖します。この幼生はケシ粒よりさらに小さい(0.5 ㎜程度)のですが、やはり二枚貝の形をしており、これが殻を閉じて魚の鰭を挟み込むように噛み付いて寄生して10日間ほど過ごした後に魚から落ちて、貝としての生活を始めます。この詳細は別の機会に話したいと思いますが、タナゴ類は二枚貝を必要とし、二枚貝はさらに別の魚が必要といった複雑な相互関係を持って、いずれの種もこの関係の中で生存しています。

タナゴ類を保全することは、その水域の生物相全体の保全を図る必要があることを理解して頂けると思います。多様な種が生息する複雑な構成種からなる生物環境が私たちの身近な小川の中にあるのです。ヤリタナゴ保全のために年に10回ほど、用水路の堀浚い対策、観察会、捕食者や競合種の駆除などの活動を行っています。ヤリタナゴ保護ネットワ-クで検索して頂ければ活動の内容は解りますし、これらに関する質問疑問には里山クラブで機会があれば説明したいと思っています。

(ヤリタナゴ調査会)

毎月のお知らせで見る活動の記録 （4月～3月）

小川町里山クラブ" YOU-YOU" 2010 4月のお知らせ

3月22日のツリーハウスの床張りの様子

月は雨天が多く予定通りの活動ができませんでした。13は第一展望台の棟上げを少人数ながら行ないました。日はキノコの植え付け予定を変更し、第一展望台の床張行い、30日には手すりを付け終わりました。シイタケメコの植え付けは28日に実施し、秋が楽しみです。

4月の予定

会：総会と第一展望台完成祝賀会
期日：4月29日(祝) 雨天時：5月2日（日）
集合：町有林第一展望台10：00
内容：総会、獅子舞・木遣り歌・ハーブ演奏等。
昼食は各自持参、飲み物は会で多少用意します。
4月25（日）に29日の準備を町有林展望台と飯田の体験広場とで行います。
集合は町有林10：00協力をお願い致します。
＊新年度会費納入もよろしくお願いします。

（事務局 e-mail : babafarm@yahoo.co.jp）
〒355-0333 小川町飯田 165 （佐藤章方）0493-72-2070

小川町里山クラブ" YOU-YOU" 2010 5月のお知らせ

4月の例会の様子

4月29日に町有林の第一展望台で総会を行いました。続いての展望台完成の祝賀会では、完成に至る経過報告の後、3人のお囃子に合わせて見事な獅子舞が披露されました。
新緑の中、季節の野草・山菜料理を味わいながらオカリナとギターのコンサートも催され、美しい自然と感動に包まれた例会となりました。

5月のお知らせ

期日：5月16日（日） （雨天の時23日（日））
集合：町有林入り口　9：00（夏時間）
内容：散策路の整備と自然観察
（山の自然観察だけでなく、私たちの田んぼの東京サンショウやカワニナ等の生き物も観察します。）
＊お弁当・飲み物持参（昼食後解散）
新年度の会費がまだの方は納入をよろしくお願い致します

(72-2070) (090-2461-9189)
（事務局 e-mail : babafarm@yahoo.co.jp）
〒355-0333 小川町飯田 165 （佐藤章方）0493-72-2070

小川町里山クラブ" YOU-YOU" 2010 6月のお知らせ

新緑の中での自然観察

月16日は自然観察と散策路整備を行いました。を刈り取ったりしながら、ギンラン、イチヤクソヤマツツジ等を愛でながら、町有林の生態系の豊を実感しました。

6月の予定

会 期日：6月20日（日）（雨天の時27日(日)）
集合：飯田楮畑　9：00
内容：楮畑の手入れ（芽欠き・草刈り）
＊剪定鋏のある方はご持参下さい
企画 ① 田植え
期日：6月13日（日） （雨天でも実施）
集合：町有林わきの谷津田 10：00
② わがクラブの田んぼで蛍鑑賞会
期日：6月20日（日）
集合：町有林入り口 7:30
＊長靴、懐中電灯で

(72-2070) (090-2461-9189)
（事務局 e-mail : babafarm@yahoo.co.jp）
〒355-0333 小川町飯田 165 （佐藤章方）0493-72-2070

小川町里山クラブ" YOU-YOU" 2010 7月のお知らせ

（6月6日の田植えの様子）

6月は13日に町有林隣の谷津田で休耕田再生プロジェクトの田植えを行いました。黒米で "里山クラブ" と文字を書きました。20日は飯田の楮畑で楮の芽欠きを行い、夜は里山クラブの谷津田へ蛍鑑賞に行きましたが、天候不順のせいか蛍の数が少なく飯田の体験広場で蛍を鑑賞しました。

7月の予定

期日：7月18日（日） （雨天の時は19日（祝））
内容：飯田体験広場の整備
集合：体験広場　9:00
★11日（日）、9:00から田んぼの草取りを行います。草取りは短時間で終わります。
★8月の活動は例年通りお休みにします。

(72-2070) (72-2465) (74-4755)
（事務局 e-mail : babafarm@yahoo.co.jp）
〒355-0333 小川町飯田 165 （佐藤章方）0493-72-2070
- 1 -

小川町里山クラブ"you-you"
2010年 9月のお知らせ

体験広場の片づけ・整備の様子

８月の活動は例年通りお休みしましたが、記録的な猛暑の毎日、いかがお過ごしでしょうか。連日の高温と日照りで里山クラブの田んぼも心配でしたが、今のとこ順調な生育です。7月１１日には田んぼの草取り、１８日には体験広場の整備を行いました。８月２４日の読売新聞夕刊に里山クラブの記事が掲載されました。ご覧になりましたか？

９月の予定

期日：9月19日（日）（雨天時は２０日（敬老の日）
内容：町有林展望台周辺整備等
・展望台と周辺の整備
・伐木した丸太を使ってベンチ作り
集合：町有林入り口　9:00
＊剪定鋏、ノコギリ等ある方はご用意下さい
＊暑さ対策と水分のご用意も
（現地連絡先 090-2461-9189）

（事務局 e-mail ： babafarm@yahoo.co.jp）
〒 355-0333　小川町飯田 165　（佐藤章方）0493-72-2070

小川町里山クラブ"you-you"
2010 １０月のお知らせ

９月例会の様子

急に秋の深まりを感じるこの頃です。９月の例会は新しい会員を迎えて、町有林で展望台のまわりの整備を行いました。汗を流した後はジュースとお菓子で歓談し、作業後を終えました。

１０月 の 例 会

期日：10月17日（日）（雨天の時は２４日）
内容： 町有林の展望台付近の整備
稲刈り、はざ架け　（昼食後解散）
集合：　町有林入り口　10:00
＊．軍手お弁当持参。稲刈り用鎌のある方はご用意下さい。
（現地連絡先 090-2461-19189）

＊脱穀は１１月３日、秋の**里山祭**は 11 月７日（予定しています。６日に祭りの準備を行います。御協力をお願いします。

（事務局 e-mail ： babafarm@yahoo.co.jp）
〒 355-0333　小川町飯田 165　（佐藤章方）0493-72-

小川町里山クラブ"you-you"
2010年 １１月のお知らせ

１０月は谷津田の稲刈りをしました。
１１月は今年も里山祭りです。いつもの広場で自然と一緒に楽しいひとときを過ごしましょう。

やったね！（稲刈り、はざ架けが終了）

3日（祝）：里山祭りに向けて体験広場の整備と谷津田で脱穀　集合:体験広場 10:00
6日（土）：里山祭り準備、　集合:体験広場 10:00
7日(日)：里山祭 里山体験広場 9:00 集合
10:00~12:00 キノコ汁とクラブで栽培した新米での餅つき
13:00~15:00：お話と野外コンサート
☆お弁当・飲み物・マイカップ持参、一品持ち寄り大歓迎。　＊小雨決行、雨天の時は中止
21日（日）：例会、町有林でキノコのほだ木の伐採
集合：町有林 10:00　雨天の時は 11 月 28 日に変更

問い合わせ先 72-2070、現地連絡先 090-2461-9189
（事務局 e-mail：babafarm@yahoo.co.jp）
〒355-0333 小川町飯田 165（佐藤章方）0493-72-2070

小川町里山クラブ"you-you"
2010 12月のお知らせ

１１月は３日の体験広場の整備と谷津田での脱穀、６日の準備を経て７日の里山祭りを迎えました。色づき始めた木々の中で、南米音楽のグループと謡尺八・満天座のコンサートを楽しみました。みんなで作った新米でのお餅つき、キノコ汁と持参のお料理で、美味しい一日でもありました。

南米音楽のグループの演奏

〔例　会〕 ツリーハウス周辺の整備
期日：１２月１２日(日)（雨天時中止）
場所：町有林　　　集合 **10:00**
〔特別企画〕　懇親忘年会
期日：１２月１１日（土）
場所：平成楼、会費：５０００円
集合：町職員駐車場（バスでの送迎）10:30
詳細・申し込み：幹事・高橋好行さん（72-572
沢山の方の参加をお待ちしています

〔問い合わせ先〕　（ e-mail：babafarm@yahoo.co.jp）
佐藤章（72-2070）　馬場信一（72-2465）　輪湖昇（74-4755）
（事務局）〒 355-0333　小川町飯田 165　（佐藤章方

小川町里山クラブ"you-you"
2011 １月のお知らせ

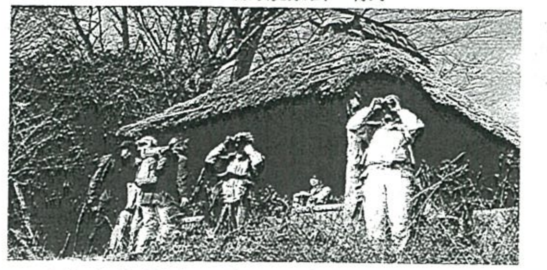
月の例会は、町有林で展望台の隣の場所を整備をしま サカキなどの常緑樹を切り、写真のように美しい林 ました。さて、新年の例会は里山探訪です。水辺と山 観察をしながら、仙元山の山頂から小川町を俯瞰し 物の息吹と里山の魅力を感じたいとおもいます。

会：新春里山探訪・冬鳥観察
日：１月１６日（日）　（雨天時：２３日（日）
容：仙元山ハイキングと冬鳥観察
合：伝統工芸会館　１０：００集合
＊お弁当、あれば双眼鏡を持参して
企画：楮の刈り取り
日：１月３０日（日）　（雨天時：２月６日（日）
合：飯田の楮畑　　１０：００集合
剪定鋏・太枝切り鋏のある方はご持参下さい
軍手は各自持参
★現地連絡先 090-2461-9189（馬場）

せ先〕 佐藤章（72-2070） 馬場信一（72-2465） 輪湖昇（74-4755）
（事務局 e-mail ： babafarm@yahoo.co.jp）
333　小川町飯田 165　（佐藤章方）0493-72-2070

小川町里山クラブ"you-you"
2011 ２月のお知らせ

１月の冬鳥観察会の様子



１６日は冬鳥を観察しながら仙元山に登りました。寒い日でしたが山頂には蝋梅が香り、眼下に広がる小川町を眺め里山の良さを満喫しました。３０日は飯田の畑で楮の刈り取りをしました。フレビンさんや日本画の研究グループを含め３０人が参加しました。作業後は差し入れの温かい豚汁をいただきました。

2月例会　：　町有林での作業
期日：２月２０日（日）　（雨天の時２７日）
集合：町有林　９：３０
内容：伐採済みの木をキノコ用の長さにに切って運び出す
＊作業に先だって、9:00 から 9:30 まで雑木林の自然観察を行います。関心のある方はご出席下さい。
＊チエンソーのある方はご持参下さい
＊現地連絡先：　090-2461-9189（馬場）

（事務局 e-mail ： babafarm@yahoo.co.jp）
〒 355-0333　小川町飯田 165　（佐藤章方）0493-72-2070

小川町里山クラブ"you-you"
2011年 ３月のお知らせ

２月２０日のキノコの材料の運び出しの様子

は作業に先だって、9:00 から 9:30 まで冬芽の植物等の自然観察を行いました。その後キノコ付け用の桜やコナラを９０cmの長さに玉切りを広場まで運びました。

３月の活動予定
：３月２０日（日）　（雨天の時　２７日）
：飯田体験広場　９：３０
：シイタケ・ナメコ等の駒打ち込み（ドリルで穴をあけ、キノコの菌駒を打ち込みます）。打ち込んだシイタケ・ナメコのほだ木を持ち帰れます。）
くない格好・軍手の用意を、電動ドリルのある方はお持ち下さい。
現地連絡先：　090-2461-9189（馬場）

（事務局 e-mail ： babafarm@yahoo.co.jp）
33　小川町飯田 165　（佐藤章方）0493-72-2070

里山クラブ　２年目の米づくり

稲穂文字を考えて、ベンチ前の田に変えてスタートした２年目の米づくり、いくつかの新しい経験をつみ重ねて、里山まつりの餅つきにたどり着きました。

○まづ、各田に均一に配水することに苦労し、工夫が出来ました。
クラブ田の水は、上５枚を満たした水を取り入れ、下の大田に出水しますが、限られた水量で均一に配水するためには、各田の排水口の微妙な調整が求められ、半月余りの失敗の繰り返しで、ようやく「コツ」がつかめました。

○クラブ田の地力が予想より低いことが分かりました。
２カ年の休耕地であり、草も繁っていたので、あまく考えてしまいました。
西側からの冷たい湧水もあり、対策が必要です。（今年は米糠を振る）

○、水・地力不足に天候不良が加わって、稲の分けつ不足と生育不良に繋がり
そのことで、地面に日が届き雑草が繁茂・・・生育阻害の悪循環に。

○「里山クラブｙｏｕ－ユー」の稲穂文字を夢見て、みんなで苦労して作業しましたが、欲張りすぎて失敗に終わりました。（企画者より謝罪、今年は・・）

○天候不良による胴割れと乾燥不足で、精米機にかけると粉になって機械がストップし、精米が出来ませんでした。（乾燥後なんとか精米した）

○米づくりメモ

4.18；種もみ温湯消毒・水浸し	7.11；田の草取り（5名）
4.24；モミ振り、苗代へ	7.18；分けつ・生育不良
4.30；白い芽ぶき	8.19；出穂始まる（穂文字不鮮明）
5.1；田の準備、畦つくり	9.12；水止め
5.6；耕起	10.17；クラブ稲刈り（13名）
5.14；畦シート張り、水入れ	11.3；クラブ脱穀（6名）
5.31；代かき～配水調整 6.12 まで	（現地計量値：37 キロ）
6.13；クラブ田植え（13名）	11.4；天日干し
「里山クラブｙｏｕ－ユー」	11.5；モミすり～精米不良
6.27；田の草取り（2名）	11.7；クラブ里山まつり・餅つき

（2011.4.　15　輪湖記）

2010年度　里山クラブ″You-You″ 活動報告

（２０１０年４月～２０１１年３月）

里山クラブ事務局

４月２９日（祝）	例会	２００９年度総会、展望台完成祝賀会（獅子舞等）	町有林展望台
５月１６日（日）	例会	町有林の散策路整備と自然観察	町有林
６月１３日（日）	特企	田植え	町有林わきの谷津田
２０日（日）	例会	楮畑の手入れ（芽欠き・草刈り）	飯田楮畑
〃	例会	里山クラブの谷津田での蛍鑑賞会	町有林わきの谷津田
７月１１日（日）	特企	田んぼの草取り	町有林わきの谷津田
１８日（日）	例会	飯田体験広場の整備	飯田里山体験広場
		田んぼの草取り	谷津田
９月１９日（日）	例会	町有林展望台周辺の整備	町有林
０月１７日（日）	例会	稲刈り・はざ架け	町有林わきの谷津田
１月　３日（祝）	特企	稲の脱穀	谷津田
〃	〃	体験広場の整備	飯田里山体験広場
６日（土）	特企	里山祭り準備（会場整備、竹カップ作り等）	飯田里山体験広場
７日（日）	例会	里山祭り　（野外コンサート、野外料理等）	飯田体験広場
２１日（日）	例会	キノコのほだ木用木の伐採	町有林
２月１２日（日）	特企	懇親忘年会	嵐山町平成楼
	例会	町有林展望台周辺整備	町有林
１月１６日（日）	例会	新春里山探訪・冬鳥観察会	仙元山
３０日（日）	特企	楮の刈り取り	飯田楮畑
２月２０日（日）	例会	冬の雑木林自然観察 キノコ用木材の玉切りと運び出し	町有林
３月２０日（日）	例会	キノコ（シイタケ・ナメコ・ヒラタケ）の植え付け講習会	飯田体験広場

里山文化の継承

（和紙の原料となる楮の刈り取り作業）

（谷津田での米作り）

小川町里山クラブ"You-You"
雑木林編集部連絡先：〒
佐藤　章（Tel ０４９